

1 年生 数学 《正負の数》 No. 0

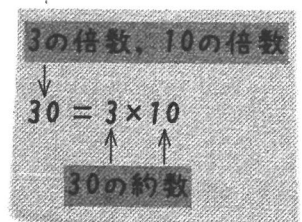
1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

【例題 1】1 年 1 組の生徒数は 30 人です。30 人を 3 人班に分けるとしたら、何班できるでしょうか。

＜解答＞上の例題 1 で、30 は 3 でわり切れるから、3 人班がちょうど 10 班できる。このことをかけ算の式で表すと

$$30 = 3 \times \boxed{10} \text{ となる。}$$

このようなかけ算の式から、わかることについて考えてみよう。たとえば、 $30 = 3 \times 10$ という式から、次のことがわかる。



☆ 30 は 3 の倍数であり、10 の 倍数 でもある。

☆ 30 は 3 と 10 でわり切れるから、3 と 10 は 30 の 約数 である。

【問題 1】6 は 3×2 と表すことができます。下の には、「約数」、「倍数」のどちらがあてはまりますか。

(1) 6 は 3 の 倍数 である。 (2) 3 は 6 の 約数 である。

【問題 2】1 年 1 組の 30 人を 5 人班に分けるととき、ちょうど 6 班できます。このことを、かけ算の式で表しなさい。また、その式からどんなことがわかりますか。

＜解答＞かけ算の式は、 $30 = 5 \times \boxed{6}$ この式から、わかることは、

☆ 30 は 5 の倍数であり、6 の 倍数 でもある。

☆ 30 は 5 と 6 でわり切れるから、5 と 6 は 30 の 約数 である。

【問題 3】31 は、1 と 31 以外の整数でわり切れますか。

答 1 と 31 以外の整数でわり切れ

【自然数】

1, 2, 3, ... のような 1 以上の整数を 自然数 という。

【素数】

自然数のうち、31 のように、1 とその数のほかに約数がない数を **素数** という。ただし、1 は素数ではない。

自然数	素数
	2, 3, 5, 7, ...
	素数ではない数
	1, 4, 6, 8, ...

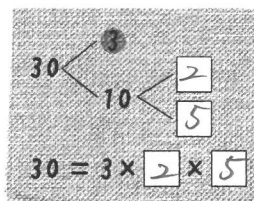
【問題 4】 1 から 20 までの素数をすべていいなさい。

答 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19

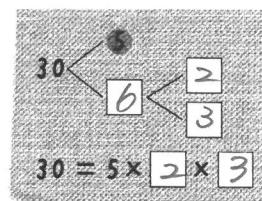
【例題 2】 30 を素数だけの積で表してみましょう。



ゆうとさんの考え



さくらさんの考え



【素因数分解】

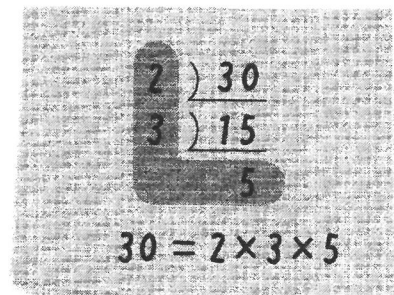
$30 = 2 \times 3 \times 5$ のように、自然数を素数だけの積で表すことを

素因数分解 という。

【素因数分解の方法】

たとえば、30 を素因数分解する場合、

- ① 30 を小さい素数で順に割っていく
- ② 素数が出てきたら終了



【問題 5】 次の数を素因数分解しなさい。

(1) 66 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 66} \\ 3 \overline{) 33} \\ 11 \end{array}$ 答 $2 \times 3 \times 11$ (2) 130 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 130} \\ 5 \overline{) 65} \\ 13 \end{array}$ 答 $2 \times 5 \times 13$

【例題 3】 165 の約数を求めてみよう。

<解答> 1 と 165 は 165 の約数である。165 を素因数分解すると

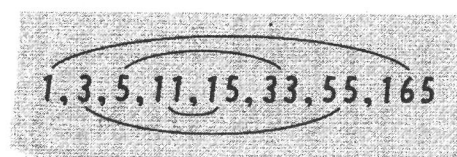
$165 = 3 \times 5 \times \text{〃}$ となる。このことから、素数の組み合

わせを考えて、

$$165 = 3 \times (5 \times 11) = 3 \times 11$$

$$165 = 5 \times (3 \times 11) = 5 \times 33$$

$$165 = 11 \times (3 \times 5) = 11 \times 15 \quad \text{答 } 1, 3, 5, 11, 15, 33, \text{〃}, 165$$



【問題 5】 130 の約数をすべて求めなさい。

$130 = 2 \times 5 \times 13$
 $130 = 2 \times (5 \times 13) = 2 \times 65$
 $130 = 5 \times (2 \times 13) = 5 \times 26$
 $130 = 13 \times (2 \times 5) = 13 \times 10$

答 1, 2, 5, 10, 13, 26, 65, 130

1年生 数学 《正負の数》 No. 1

1年()組()番 氏名(解答)

【符号】

0℃を基準にして、それより低い温度は、「－」を使って表す。例えば、0℃より3℃低い温度を「－3℃」とし、マイナス 3℃と読む。これに対して、0℃より5℃高い温度を「＋5℃」のように、「＋」をつけて書くことがある。「＋5℃」はプラス 5℃と読む。「＋」や「－」をこのように使うとき「＋」を正の符号、「－」を負の符号という。

【問1】＋，－の符号を使って、次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より5.5℃低い温度

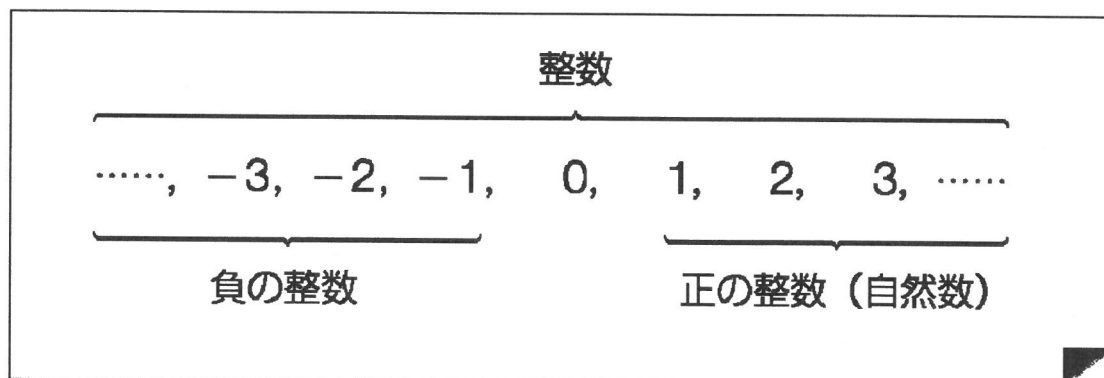
答 －5.5℃

(2) 0℃より8℃高い温度

答 ＋8℃

【自然数】

＋5 や＋8 のような数を正の数といい、－3 や－5.5 のような数を負の数という。0は正でも負でもない数である。＋5 や＋8 は、前から知っていた数5 や8 と同じ数である。これからは、数といえば、負の数をふくめて考える。例えば、整数には、正の整数、0、負の整数がある。正の整数を自然数ともいう。



【問2】負の小数、負の分数を、それぞれ1つあげなさい。

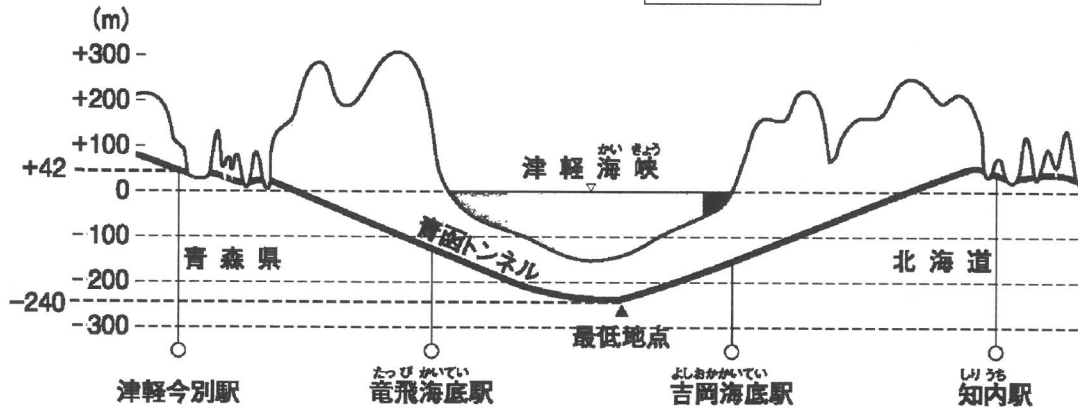
答 負の小数 (例) -1.5

負の分数 (例) $-\frac{3}{2}$

【例1】海面の高さを基準の0mとし、高さが海面より高いことを正の数、低いことを負の数で表すことにする。

津軽今別駅の標高42mは、+ 42 mと表される。

青函トンネルの海面下240mは、- 240 mと表される。



【問3】琵琶湖の湖面の標高は85mで、これは、湖面が海面より85m高いことを表しています。死海の湖面の標高は-400mです。これは、湖面が海面に対してどうなっていることを表していますか。

答 湖面が海面より 400 m低いこと

【例2】500円の収入を+500円と表すことにすれば、-300円は300円の 支出 を表している。

500円の収入 $\uparrow$ +500円
300円の支出 $\downarrow$ -300円

【問4】気温が現在より5℃高くなることを、+5℃と表すことにすれば、-3℃はどんなことを表していますか。

気温が現在より 5℃高くなること $\uparrow$ +5℃
気温が現在より 3℃低くなること $\downarrow$ -3℃

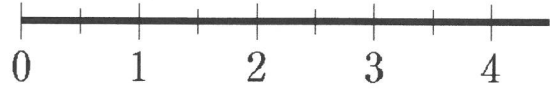
答 気温が現在より 3 °C低くなること

1年生 数学 《正負の数》 No. 2

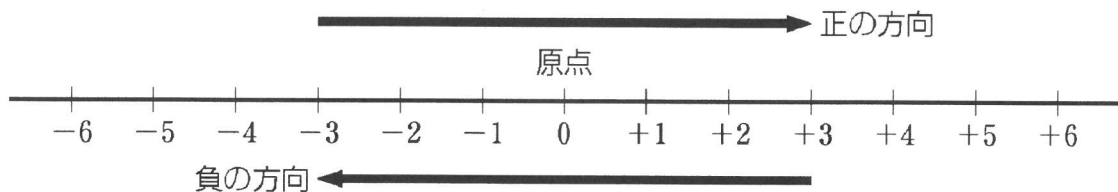
1年()組()番 氏名(解答)

【数直線】

小学校では、0と正の数の範囲の数直線を考えていた。

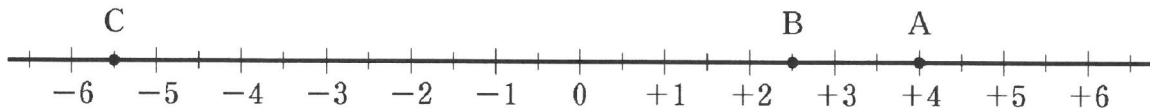


ここでは、負の数をふくめた数についての数直線をつくってみよう。まず、直線上に基準の点を取り、数0を対応させる。次に、その点から左右に一定の間隔で目もりをつけ、0より右側に正の数、左側に負の数を、下の図のように対応させる。



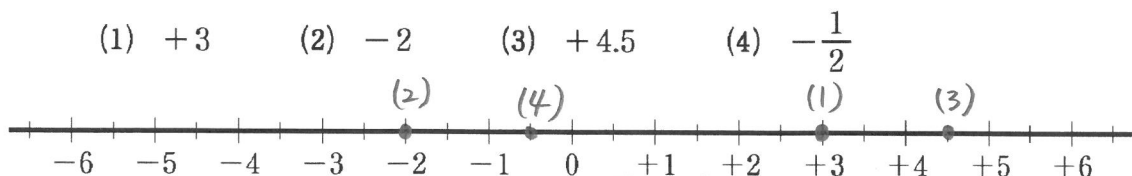
このとき、数直線上で0が対応している点を原点という。また、数直線の右の方向を正の方向、左の方向を負の方向という。

【問1】 下の数直線で、点A、B、Cに対応する数をいいなさい。



答 A +4 B +2.5 C -5.5
($+\frac{5}{2}$, $+2\frac{1}{2}$ 也可) ($-\frac{11}{2}$, $-5\frac{1}{2}$ 也可)

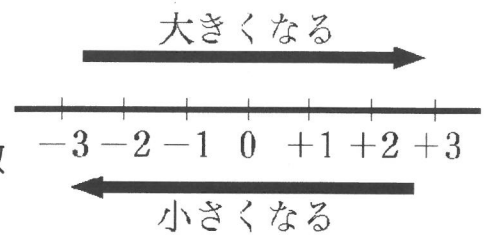
【問2】 下の数直線上に、次の数に対応する点をしるしなさい。



数直線上に●を付けろか？
(1)や(2)のように番号を付けろか？
どちらも必要だろ。

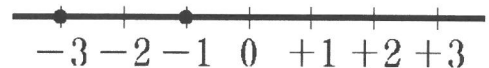
【数の大小】

正の数の範囲では、数直線上で右にある数ほど **大きい**。0と負の数をふくめた数直線上でも、右にある数ほど大きく、左にある数ほど **小さい**。



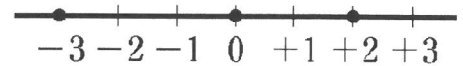
【不等号を使った表し方】

-1 と -3 の大小関係は、数直線上で、-1 は -3 より右にあるから、-1 のほうが大きい。不等号 (>, <) を使い、



$-3 < -1$ または $-1 > -3$ と表す。

0, -3, +2 の大小関係は、数直線上で、0 は -3 より右にあり、+2 は 0 より右にあるから、不等号 (>, <) を使い、



$-3 < 0 < +2$
 $+2 > 0 > -3$

または
と表す。

0 > -3 < +2 とはしない。
0 と +2 の大小関係がわからないから、3つ以上の数で表すときは小さいほうから大きいほうの順に並べる。

【問3】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -2, -3

答 $-2 > -3$ ($-3 < -2$)

(2) 0, +1, -2

答 $-2 < 0 < +1$ ($+1 > 0 > -2$)

不等号の
かゝりは×

【問4】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -3, +5

答 $-3 < +5$ ($+5 > -3$)

(2) -4, +3, -1

答 $-4 < -1 < +3$ ($+3 > -1 > -4$)

【問5】 -3, +4, -2 の大小を、不等号を

使って右のように表しました。それぞれの数の大小がわかるように、右の表し方をなおしなさい。

$-3 < +4 > -2$

-3 と -2 の大小は…



さくらさん

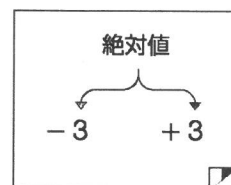
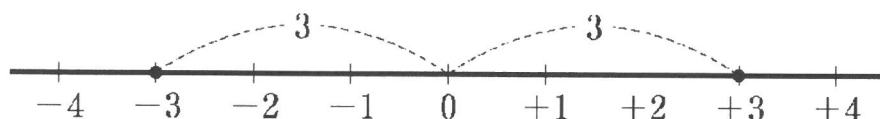
答 $-3 < -2 < +4$ ($+4 > -2 > -3$)

1年生 数学 《正負の数》 No.3

1年()組()番 氏名(解答)

【絶対値】

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の **絶対値** という。たとえば、 $+3$ は原点から 3 の距離にあるから、 $+3$ の絶対値は **3** である。 -3 も原点から 3 の距離にあるから、 -3 の絶対値も **3** である。 0 の絶対値は **0** である。



【問1】 次の数の絶対値をいいなさい。

- (1) $+8$ (2) -10 (3) $+2.5$ (4) $-\frac{1}{3}$

答 **8** **10** **2.5** **$\frac{1}{3}$**

【問2】 絶対値が7である数をいいなさい。

答 **$+7, -7$**

【絶対値と大小】

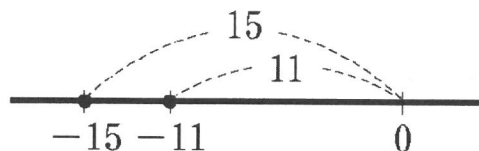
正の数は、絶対値が大きいほど **大きい**。では、負の数についてはどうだろうか。

たとえば、 -11 と -15 では、

-15 の絶対値は **15** で、

-11 の絶対値 **11** より大きいから、数直線上では、 -15 は -11 より左にある。したがって、不等号を使って、次のように表される。

$$\boxed{-15} < \boxed{-11}$$



このことより、負の数は、絶対値が大きいほど **小さい**。

【問3】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-36, -49$ (2) $-0.8, -0.12$ (3) $-1, -\frac{7}{6}$

答

$$-36 > -49$$

$$-0.8 < -0.12$$

$$-1 > -\frac{7}{6}$$

【練習問題】

1. 次の数を、正の符号、負の符号をつけて表しなさい。

(1) 0 より 18 大きい数

(2) 0 より 36 小さい数

答

$$+18$$

$$-36$$

(3) 0 より $\frac{1}{3}$ 大きい数

(4) 0 より 0.8 小さい数

答

$$+\frac{1}{3}$$

$$-0.8$$

2. 次の数の中で、負の数をいいなさい。

$$-3.2, 0, \frac{2}{3}, -10, -\frac{5}{6}, 0.2, -1, +9, 6, -0.1$$

答

$$-3.2, -10, -\frac{5}{6}, -1, -0.1$$

3. 絶対値が2以下の整数をすべていいなさい。

2を含む

答

$$-2, -1, 0, +1, +2$$

4. 絶対値が2以上5以下の整数はいくつありますか。

$$-5, -4, -3, -2, +2, +3, +4, +5$$

答

$$8つ$$

5. 次の口に不等号を書き入れて、2数の大小を表しなさい。

(1) $-0.01 \square -0.1$

(2) $-\frac{1}{2} \square -\frac{1}{3}$

6. 次の数を、小さい方から順に並べなさい。また、絶対値の小さい方から順に並べなさい。

$$-0.5, 0.2, -1.2, 0, \frac{3}{5}, -\frac{8}{5}$$

小さい方から順

$$-\frac{8}{5}, -1.2, -0.5, 0, 0.2, \frac{3}{5}$$

絶対値の小さい方から順

$$0, 0.2, -0.5, \frac{3}{5}, -1.2, -\frac{8}{5}$$

$\frac{3}{5}$ と0.6と
は同じ
問題に
出た数字の
答えは

1 年生 数学 《正負の数》 No. 4

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

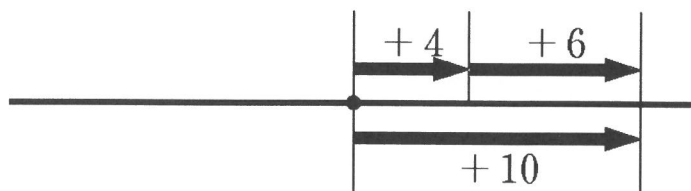
【加法】

たし算のことを 加法 ともいう。加法の結果が 和 である。

【同符号の数の加法の計算方法】

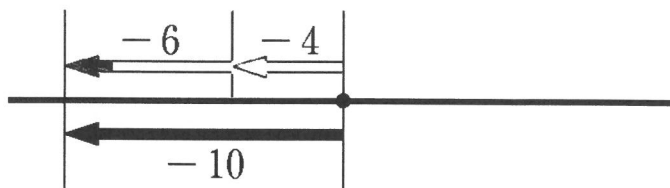
+4 と +6 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (+4) + (+6) \\ & = + (4 + 6) \\ & = + \boxed{10} \end{aligned}$$



-4 と -6 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (-4) + (-6) \\ & = - (4 + 6) \\ & = - \boxed{10} \end{aligned}$$



【問1】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} (1) \quad & (+2) + (+7) \\ & = + (2 + 7) \\ & = + 9 \end{aligned}$$

答 +9

$$\begin{aligned} (2) \quad & (-2) + (-4) \\ & = - (2 + 4) \\ & = - 6 \end{aligned}$$

答 -6

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+4) + (+3) \\ & = + (4 + 3) \\ & = + 7 \end{aligned}$$

答 +7

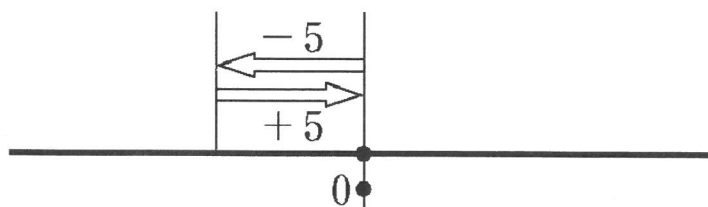
$$\begin{aligned} (4) \quad & (-5) + (-8) \\ & = - (5 + 8) \\ & = - 13 \end{aligned}$$

答 -13

【絶対値が等しい異符号の数の加法の計算方法】

+5 と -5 の和は、下の数直線で考えると、

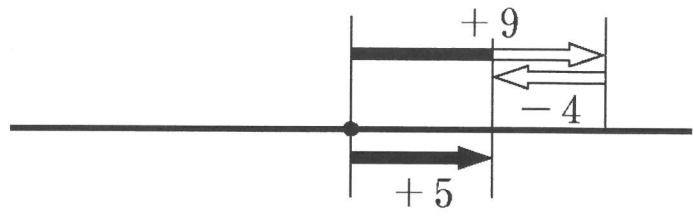
$$\begin{aligned} & (+5) + (-5) \\ & = \boxed{0} \end{aligned}$$



【異符号の数の加法の計算方法】

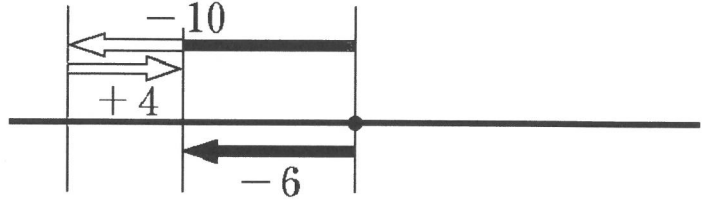
+9 と -4 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (+9) + (-4) \\ & = + (9 - 4) \\ & = + \boxed{5} \end{aligned}$$



-10 と +4 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (-10) + (+4) \\ & = - (10 - 4) \\ & = - \boxed{6} \end{aligned}$$



【問2】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} (1) \quad & (+4) + (-3) \\ & = + (4 - 3) \\ & = + 1 \end{aligned}$$

答 $\boxed{+1}$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+7) + (-9) \\ & = - (9 - 7) \\ & = - 2 \end{aligned}$$

答 $\boxed{-2}$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (-6) + (+6) \\ & = 0 \end{aligned}$$

答 $\boxed{0}$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-12) + (+18) \\ & = + (18 - 12) \\ & = + 6 \end{aligned}$$

答 $\boxed{+6}$

【2数の加法の計算方法】

① 同符号の2つの数の和は、絶対値の

$\boxed{\text{和}}$ に共通の $\boxed{\text{符号}}$ をつける。

$$\begin{array}{c} \text{共通の符号} \\ \swarrow \quad \searrow \\ (-4) + (-6) = - \underbrace{(4+6)}_{\text{たす}} \end{array}$$

② 異符号の2つの数の和は、絶対値の

大きいほうから小さいほうをひき、絶対値の $\boxed{\text{大きい}}$ ほうの符号をつける。

$$\begin{array}{c} \text{絶対値の大きいほうの符号} \\ \swarrow \quad \searrow \\ (-10) + (+4) = - \underbrace{(10-4)}_{\text{ひく}} \end{array}$$

1 年生 数学 《正負の数》 No.5

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

【正の数・負の数の加法】

★同符号の2数の和

符 号 → 2数と同じ 符号

絶対値 → 2数の絶対値の 和

$$(+3) + (+5) = +(3+5)$$

$$(-3) + (-5) = -(3+5)$$

★異符号の2数の和

符 号 → 絶対値の大きい方の 符号

絶対値 → 2数の絶対値の大きい方から小さい方をひいた 差

$$(+3) + (-5) = -(5-3)$$

$$(-3) + (+5) = +(5-3)$$

【0の数との加法】

絶対値が等しい異符号の2数の和は 0 です。

また、0と正の数、0と負の数の和は、

その 数 のままです。

$$(+5) + (-5) = 0$$

$$0 + (+5) = +5$$

$$0 + (-5) = -5$$

【問1】 次の計算をなさい。

(1) $(-3) + 0 = -3$

答 -3

(2) $0 + (-5) = -5$

答 -5

【問2】 次の計算をなさい。

(1) $(-3) + (-8)$

$$= -(3+8)$$

$$= -11$$

答 -11

(2) $(-6) + (-10)$

$$= -(6+10)$$

$$= -16$$

答 -16

(3) $(-7) + (+18)$

$$= +(18-7)$$

$$= +11$$

答 +11

(4) $(-18) + (+7)$

$$= -(18-7)$$

$$= -11$$

答 -11

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $(+21) + (-26)$

$$= -(26-21)$$

$$= -5$$

答 -5

(2) $(-35) + (+38)$

$$= +(38-35)$$

$$= +3$$

答 +3

$$(3) \quad (-25) + (+22)$$

$$= -(25-22) \\ = -3$$

$$\text{答} \quad \boxed{-3}$$

$$(4) \quad (+34) + (-28)$$

$$= +(34-28) \\ = +6$$

$$\text{答} \quad \boxed{+6}$$

$$(5) \quad (-27) + (-34)$$

$$= -(27+34) \\ = -61$$

$$\text{答} \quad \boxed{-61}$$

$$(6) \quad (-12) + (-12)$$

$$= -(12+12) \\ = -24$$

$$\text{答} \quad \boxed{-24}$$

$$(7) \quad (-49) + (+49)$$

$$= 0$$

$$\text{答} \quad \boxed{0}$$

$$(8) \quad 0 + (-37)$$

$$= -37$$

$$\text{答} \quad \boxed{-37}$$

【分数や小数の加法】

分数や小数の加法は、整数と同じように考えて、計算すればよい。

【問4】 次の計算をなさい。

$$(1) \quad (+5.3) + (-2.3)$$

$$= +(5.3-2.3) \\ = +3$$

$$\text{答} \quad \boxed{+3}$$

$$(2) \quad (-0.4) + (-0.3)$$

$$= -(0.4+0.3) \\ = -0.7$$

$$\text{答} \quad \boxed{-0.7}$$

$$(3) \quad \left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{2}{7}\right)$$

$$= -\left(\frac{3}{7}-\frac{2}{7}\right) \\ = -\frac{1}{7}$$

$$\text{答} \quad \boxed{-\frac{1}{7}}$$

$$(4) \quad \left(-\frac{4}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$$

$$= -\left(\frac{4}{5}+\frac{1}{5}\right) \\ = -\frac{5}{5} \\ = -1$$

$$\text{答} \quad \boxed{-1}$$

$$(5) \quad \left(-\frac{1}{3}\right) + \left(+\frac{1}{4}\right)$$

$$= +\left(\frac{1}{3}-\frac{1}{4}\right) \\ = +\left(\frac{4}{12}-\frac{3}{12}\right) \\ = +\frac{1}{12}$$

$$\text{答} \quad \boxed{+\frac{1}{12}}$$

$$(6) \quad \left(+\frac{1}{6}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right)$$

$$= -\left(\frac{3}{10}-\frac{1}{6}\right) \\ = -\left(\frac{9}{30}-\frac{5}{30}\right) \\ = -\frac{4}{30} \\ = -\frac{2}{15}$$

$$\text{答} \quad \boxed{-\frac{2}{15}}$$

1年生 数学 《正負の数》 No.6

1年()組()番 氏名(解答)

【加法の交換法則】

2つの正の数の加法では、加えられる数と加える数を入れかえても、和は変わらない。このことは、正負の数についても成り立つ。

これを、加法の 交換法則 という。例えば、

$$(+5) + (-3) = (-3) + (+5)$$

【加法の結合法則】

3つ以上の正の数の加法では、どこの2数から計算しても、和は変わらない。このことは、正負の数についても成り立つ。

これを、加法の 結合法則 という。例えば、

$$\{(+3) + (-9)\} + (+7) = (+3) + \{(-9) + (+7)\}$$

【3つ以上の加法の計算方法】

加法では、交換法則や結合法則が成り立つので、いくつかの正負の数を加えるとき、数の順序や組み合わせを変えて計算してもよい。

$$(1) \quad (+3) + (-8) + (+7) + (-5)$$

$$= (+3) + (+7) + (-8) + (-5)$$

$$= \{(+3) + (+7)\} + \{(-8) + (-5)\}$$

$$= (+10) + (-13)$$

$$= -3$$

正の数どうし、
負の数どうし
計算しそめい
↓ 交換法則
↓ 結合法則

トランプでの計算を
思い出してみよう

$$(2) \quad (+6) + (-18) + (-6)$$

$$= (+6) + (-6) + (-18)$$

$$= \{(+6) + (-6)\} + (-18)$$

$$= 0 + (-18)$$

$$= -18$$

【問1】 次の計算をなさい。

(1) $(+5) + (-9) + (-7) + (+6)$ 別) 3と3をまとめる
$$= (+5) + (+6) + (-9) + (-7)$$
$$= (+11) + (-16)$$
$$= -5$$
$$\begin{aligned} & \underline{(+5) + (-9) + (-7) + (+6)} \\ &= (-4) + (-1) \quad \text{左2つ, 右2つ} \\ &= -5 \quad \text{に分ける} \end{aligned}$$

答 -5

(2) $(-8) + (+5) + (-3) + (+8) + (-1)$
$$= (-8) + (+8) + (+5) + (-3) + (-1)$$
$$= 0 + (+5) + (-4)$$
$$= +1$$

答 +1

1 年生 数学 《正負の数》 No.7

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

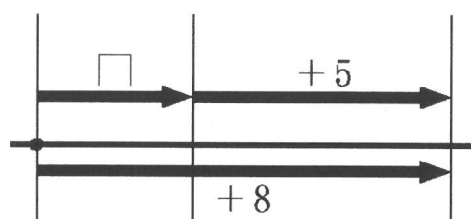
【減法】

■ + 5 = 8 の ■ にあてはまる数を考えてみましょう。小学校で学んだように、■ + 5 = 8 という式の ■ にあてはまる数を求める計算は、8 - 5 というひき算である。正負の数でも同じように、ひき算を考える。

(■) + (+5) = +8 の ■ にあてはまる数を求める計算は、次のひき算である。(+ 8) - (+ 5) = ■

ひき算のことを **減法** ともいう。

減法の結果が **差** である。



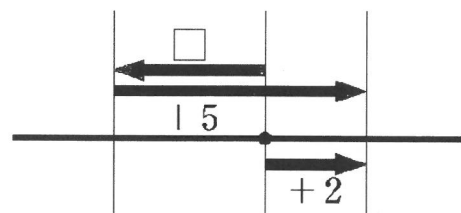
【減法の計算方法① 正の数进行く】

次の式の ■ にあてはまる数は何でしょうか。

$$(\blacksquare) + (+5) = +2 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

①の式の ■ を求める計算は、次の減法である。

$$(+2) - (+5) = \blacksquare \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$



①の式 (■) + (+5) = +2 は、右上の図のように表せる。

右の図から、■ は、+2 移動し、続けて -5 移動した結果と同じになっている。

したがって

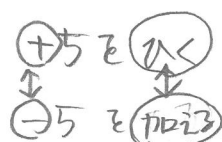
$$(+2) + (-5) = \blacksquare \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

と表すことができる。

②と③の「=」の左の式は、どちらも □ を表しているから

$$(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$$

となる。すなわち、+5 をひくことは、-5 を **加える** ことと同じである。



【減法の計算方法② 負の数を引く】

次の式の ■ にあてはまる数は何でしょうか。

$$(\blacksquare) + (-5) = +2 \quad \cdots \cdots \textcircled{4}$$

④の式の ■ を求める計算は、次の減法である。

$$(+2) - (-5) = \blacksquare \quad \cdots \cdots \textcircled{5}$$

④の式 $(\blacksquare) + (-5) = +2$ は、右上の図のように表せる。

右の図から、■ は、+2 移動し、続けて+5

移動した結果と同じになっている。したがって

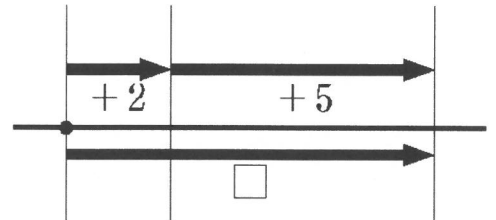
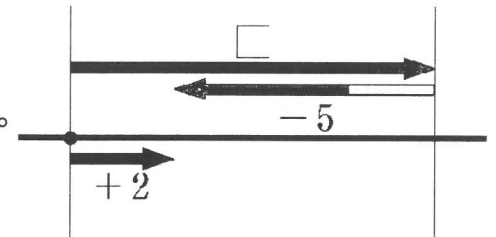
$$(+2) + (+5) = \blacksquare \quad \cdots \cdots \textcircled{6}$$

と表すことができる。

⑤と⑥の「=」の左の式は、どちらも ■ を表しているから

$$(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$$

となる。すなわち、-5 をひくことは、+5 を 加える ことと同じである。



【減法の計算方法】

正の数、負の数をひくことは、その数の符号を変えて 加える ことと同じである。

正の数をひく	負の数を加える
$(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$	
負の数をひく	正の数を加える
$(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$	

【問1】 次の減法の式を、加法の式になおして計算しなさい。

$$(1) (+5) - (+7)$$

$$= (+5) + (\boxed{-7})$$

$$= \boxed{-2}$$

$$(2) (+3) - (-5)$$

$$= (+3) + (\boxed{+5})$$

$$= \boxed{+8}$$

$$(3) 0 - (+6)$$

$$= 0 + (\boxed{-6})$$

$$= \boxed{-6}$$

$$(4) 0 - (-6)$$

$$= 0 + (\boxed{+6})$$

$$= \boxed{+6}$$

1年生 数学 《正負の数》 No.8

1年()組()番 氏名(解答)

【減法の計算】

0からある数をひくことは、その数の符号を変えることと同じである。また、どんな数から0をひいても、差ははじめの数になる。

$$(-3) - 0 = \boxed{-3}$$

符号を変える

$$0 - (+6) = -6$$

符号を変える

$$0 - (-6) = +6$$

【問1】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} (1) \quad & (+1) - (+4) \\ & = (+1) + \boxed{-4} \\ & = \boxed{-3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (-6) - (-2) \\ & = (-6) + \boxed{+2} \\ & = \boxed{-4} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (-2) - (+9) \\ & = (-2) + \boxed{-9} \\ & = \boxed{-11} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (+8) - (-4) \\ & = (+8) + \boxed{+4} \\ & = \boxed{+12} \end{aligned}$$

【問2】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} (1) \quad & (-6) - (-1) \\ & = (-6) + \boxed{+1} \\ & = \boxed{-5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+7) - (-9) \\ & = (+7) + \boxed{+9} \\ & = \boxed{+16} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (-3) - (+5) \\ & = (-3) + \boxed{-5} \\ & = \boxed{-8} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (+6) - (+3) \\ & = (+6) + \boxed{-3} \\ & = \boxed{+3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (5) \quad & (-5) - (-5) \\ & = (-5) + \boxed{+5} \\ & = \boxed{0} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & (-7) - (+7) \\ & = (-7) + \boxed{-7} \\ & = \boxed{-14} \end{aligned}$$

$$(7) \quad 0 - (-8)$$

$$= 0 + (+8)$$

$$= +8$$

$$(8) \quad (-14) - 0$$

$$= -14$$

$$(9) \quad (-4) - (-9)$$

$$= (-4) + (+9)$$

$$= +5$$

$$(10) \quad (+6) - (+9)$$

$$= (+6) + (-9)$$

$$= -3$$

【問3】 次の計算をなさい。

$$(1) \quad (-0.4) - (+0.2)$$

$$= (-0.4) + (-0.2)$$

$$= -0.6$$

$$\text{答} \quad -0.6$$

$$(2) \quad (-3) - (-1.2)$$

$$= (-3) + (+1.2)$$

$$= -1.8$$

$$\text{答} \quad -1.8$$

$$(3) \quad \left(-\frac{1}{9}\right) - \left(-\frac{4}{9}\right)$$

$$= \left(-\frac{1}{9}\right) + \left(+\frac{4}{9}\right)$$

$$= +\frac{3}{9}$$

$$= +\frac{1}{3}$$

$$\text{答} \quad +\frac{1}{3}$$

$$(4) \quad \left(+\frac{1}{4}\right) - \left(+\frac{6}{7}\right)$$

$$= \left(+\frac{1}{4}\right) + \left(-\frac{6}{7}\right)$$

$$= \left(+\frac{2}{28}\right) + \left(-\frac{24}{28}\right)$$

$$= -\frac{12}{28}$$

$$\text{答} \quad -\frac{12}{28}$$

$$(5) \quad (+2) - \left(+\frac{1}{3}\right)$$

$$= (+2) + \left(-\frac{1}{3}\right)$$

$$= \left(+\frac{6}{3}\right) + \left(-\frac{1}{3}\right)$$

$$= +\frac{5}{3}$$

$$\text{答} \quad +\frac{5}{3}$$

1 年生 数学 《正負の数》 No. 9

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

【加法の計算練習】

$$\begin{aligned} (1) \quad & (-4) + (+5) \\ & = + (\boxed{5} - \boxed{4}) \\ & = \boxed{+1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+2) + (-18) \\ & = - (\boxed{18} - \boxed{2}) \\ & = \boxed{-16} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+9) + (-9) \\ & = \boxed{0} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-13) + (-7) \\ & = - (\boxed{13} + \boxed{7}) \\ & = \boxed{-20} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (5) \quad & (-12) + (+3) \\ & = - (\boxed{12} - \boxed{3}) \\ & = \boxed{-9} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & (-9) + (-6) \\ & = - (\boxed{9} + \boxed{6}) \\ & = \boxed{-15} \end{aligned}$$

【減法の計算練習】

$$\begin{aligned} (1) \quad & (-9) - (-2) \\ & = (-9) + (\boxed{+2}) \\ & = \boxed{-7} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+7) - (-6) \\ & = (+7) + (\boxed{+6}) \\ & = \boxed{+13} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+2) - (+10) \\ & = (+2) + (\boxed{-10}) \\ & = \boxed{-8} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-4) - (-4) \\ & = (-4) + (\boxed{+4}) \\ & = \boxed{0} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (5) \quad & (-4) - (-11) \\ & = (-4) + (\boxed{+11}) \\ & = \boxed{+7} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & 0 - (-3) \\ & = 0 + (\boxed{+3}) \\ & = \boxed{+3} \end{aligned}$$

1 年生 数学 《正負の数》 No. 1 0

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

【式の項】

例えば、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ という式は、加法だけの式である。これは、() の中の下の 4 つの数の和を表している。

$+4$, -7 , $+9$, -5

これらの数を、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ の式の 項 という

【問1】 次の式の項をいいなさい。

(1) $(-6) + (-4) + (+3)$

答

$-6, -4, +3$

(2) $(+2) - (-5) + (-6) - (+3)$

$= (+2) + ($+5$) + (-6) + (-3)$

答

$+2, +5, -6, -3$

【項だけを書き並べた式】

今後は () と加法の記号 $+$ をはぶいて、項だけを書き並べた式と考えることができる。このとき、式のはじめの項の $+$ の符号は省略している。例えば、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ という式の項は、 $+4$, -7 , $+9$, -5 だから、項だけを書き並べた式は、 $+4 - 7 + 9 - 5$ となる。

【問2】 次の式を、項を書き並べた式になおしなさい。

(1) $(-3) + (+8) + (-4)$

答

$-3 + 8 - 4$

(2) $(-5) - (-2) + 3$

$= (-5) + ($+2$) + 3$

答

$-5 + 2 + 3$

【問3】 次の式の項をすべていいなさい。

(1) $-6+2-7$

答

$-6, +2, -7$

(2) $2-3-6$

答

$2, -3, -6$

【加法と減法の混じった計算方法】

例えば、 $4-7+9-5$ という式は、加法の交換法則や結合法則を使って、次のように計算することができる。

$$\begin{aligned} &4 - 7 + 9 - 5 \\ &= 4 + 9 - 7 - 5 \\ &= 13 - 12 \\ &= \boxed{1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &4 - 7 + 9 - 5 \\ &= 4 + 9 - 7 - 5 \\ &= 13 - 12 \\ &= 1 \end{aligned}$$

項が入れかわっているね。



【問4】 次の計算をしなさい。

(1) $-4 + 12 - 9$

$$\begin{aligned} &= -4 - 9 + 12 \\ &= -13 + 12 \\ &= -1 \end{aligned}$$

答

-1

(2) $-5 + 3 - 2 + 6$

$$\begin{aligned} &= 3 + 6 - 5 - 2 \\ &= 9 - 7 \\ &= 2 \end{aligned}$$

答

2

(3) $-7 + 5 + 6 - 2$

$$\begin{aligned} &= 5 + 6 - 7 - 2 \\ &= 11 - 9 \\ &= 2 \end{aligned}$$

答

2

(4) $-4 + 92 - 6 + 8$

$$\begin{aligned} &= 92 + 8 - 4 - 6 \\ &= 100 - 10 \end{aligned}$$

答

90

(5) $2 - 8 + 7 - 2 + 8$

$$\begin{aligned} &= \underline{2-2} - \underline{8+8} + 7 \\ &= 7 \end{aligned}$$

答

7

(6) $1 - 10 + 13 - 15$

$$\begin{aligned} &= 1 + 13 - 10 - 15 \\ &= 14 - 25 \\ &= -11 \end{aligned}$$

答

-11

1 年 () 組 () 番 氏名 (解答)

【加法と減法の混じった計算方法】

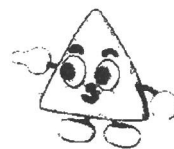
例えば、 $-17 - (-25) + 3 + (-14)$ という式の計算は、最初に

- ① ()
- ② 加法の記号+ (たす)
- ③ 式のはじめの項の+ (プラス) の符号

を省略して、次のように計算することができる。

$$\begin{aligned}
 & -17 - (-25) + 3 + (-14) \\
 = & -17 + 25 + 3 - 14 \\
 = & 25 + 3 - 17 - 14 \\
 = & 28 - 31 \\
 = & \boxed{-3}
 \end{aligned}$$

「=」は、縦にそろえて書くと
わかりやすいね。



このとき、

- | | | |
|--|---|---------------------|
| ① $\triangle + (+\square) = \triangle + \square$ | } | 記号と符号が同じなら + (プラス) |
| ② $\triangle - (-\square) = \triangle + \square$ | | |
| ③ $\triangle + (-\square) = \triangle - \square$ | } | 記号と符号が違うなら - (マイナス) |
| ④ $\triangle - (+\square) = \triangle - \square$ | | |

となる。

【問1】 次の計算をなさい。

(1) $9 + (-3) - (-5)$

$$\begin{aligned}
 & = 9 - 3 + 5 \quad \rightarrow \textcircled{\text{別}} \\
 & = 9 + 5 - 3 \quad = 6 + 5 \\
 & = 14 - 3 \quad = 11 \\
 & = 11
 \end{aligned}$$

答

$\boxed{11}$

(2) $7 + (-6) - 4 - (-9)$

$$\begin{aligned}
 & = 7 - 6 - 4 + 9 \quad \rightarrow \textcircled{\text{別}} \\
 & = 7 + 9 - 6 - 4 \quad = 1 + 5 \\
 & = 16 - 10 \quad = 6 \\
 & = 6
 \end{aligned}$$

答

$\boxed{6}$

【問2】 次の計算をなさい。

(1) $3 - 8 - (-7)$

$$\begin{aligned} &= 3 - 8 + 7 \\ &= -5 + 7 \\ &= 2 \end{aligned}$$

い3い3
計算方法あり

答 2

(2) $-17 - (-28) + 0 - 19$

$$\begin{aligned} &= -17 + 28 + 0 - 19 \\ &= 11 - 19 \\ &= -8 \end{aligned}$$

答 -8

(3) $12 - 18 - (-21) - 11$

$$\begin{aligned} &= 12 - 18 + 21 - 11 \\ &= -6 + 10 \\ &= 4 \end{aligned}$$

答 4

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $1.3 - 2.4 - 0.5$

$$\begin{aligned} &= 1.3 - 2.9 \\ &= -1.6 \end{aligned}$$

答 -1.6

(2) $5.3 + (-6.1) - (-3.4)$

$$\begin{aligned} &= 5.3 - 6.1 + 3.4 \\ &= -0.8 + 3.4 \\ &= 2.6 \end{aligned}$$

答 2.6

(3) $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{3}$

$$\begin{aligned} &= \frac{12}{12} - \frac{6}{12} + \frac{3}{12} - \frac{4}{12} \\ &= \frac{6}{12} - \frac{1}{12} \\ &= \frac{5}{12} \end{aligned}$$

答 $\frac{5}{12}$

(4) $-\frac{5}{6} - \left(+\frac{3}{4}\right) + \frac{1}{2}$

$$\begin{aligned} &= -\frac{5}{6} - \frac{3}{4} + \frac{1}{2} \\ &= -\frac{10}{12} - \frac{9}{12} + \frac{6}{12} \\ &= -\frac{19}{12} + \frac{6}{12} \\ &= -\frac{13}{12} \end{aligned}$$

答 $-\frac{13}{12}$

1年生 数学 《正負の数》 No. 1 2

1年()組()番 氏名(解答)

【問1】 次の計算をなさい。

$$(1) \quad (-4) + (+5) \\ = 1$$

答 1

$$(2) \quad (+2) + (-18) \\ = -16$$

答 -16

$$(3) \quad (+9) + (-9) \\ = 0$$

答 0

$$(4) \quad (-13) + (-7) \\ = -20$$

答 -20

$$(5) \quad (-12) + (+3) \\ = -9$$

答 -9

$$(6) \quad (-9) + (-6) \\ = -15$$

答 -15

【問2】 次の計算をなさい。

$$(1) \quad (-9) - (-2) \text{ (別)} \\ = -9 + 2 \quad \rightarrow = (-9) + (+2) \\ = -7 \quad \quad \quad = -7$$

答 -7

$$(2) \quad (+7) - (-6) \text{ (別)} \\ = 7 + 6 \quad \rightarrow = (+7) + (+6) \\ = 13 \quad \quad \quad = +13$$

答 13

$$(3) \quad (+2) - (+10) \text{ (別)} \\ = 2 - 10 \quad \rightarrow = (+2) + (-10) \\ = -8 \quad \quad \quad = -8$$

答 -8

$$(4) \quad (-4) - (-4) \text{ (別)} \\ = -4 + 4 \quad \rightarrow = (-4) + (+4) \\ = 0 \quad \quad \quad = 0$$

答 0

$$(5) \quad (-4) - (-11) \text{ (別)} \\ = -4 + 11 \quad \rightarrow = (-4) + (+11) \\ = 7 \quad \quad \quad = +7$$

答 7

$$(6) \quad 0 - (-3) \text{ (別)} \\ = 0 + 3 \quad \rightarrow = 0 + (+3) \\ = 3 \quad \quad \quad = +3$$

答 3

【問3】 次の計算を下さい。

(1) $-2-6 = -8$

答 -8

(2) $\frac{5-6-8-1}{= -1-9}$ いろいろ計算方法あり
 $= -10$

答 -10

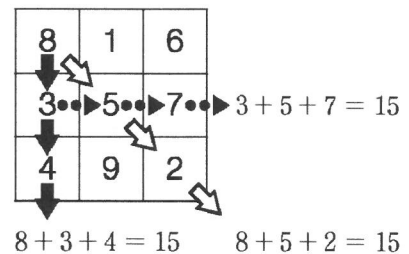
(3) $-1-(-3)-5$
 $= -1+3-5$
 $= 2-5$
 $= -3$

答 -3

(4) $10+(-15)-(-13)-23$
 $= 10-15+13-23$
 $= -5-10$
 $= -15$

答 -15

【問4】 右の図のように、縦、横、斜めの数の和がすべて等しくなるように、正方形に異なる数を並べたものを魔方陣といいます。次の魔方陣を完成させよう。



う。
 $4+1-2=5-2$
 $= 3$
 和が3

0	5	-2
-1	1	3
4	-3	2

-9	-8	5	6
3	4	-7	-6
2	-3	0	-5
-2	1	-4	-1

$-9+4+0-1$
 $= -5-1$
 $= -6$
 和が-6

NO. 13

小テスト	1 章 1 節-1	年 組 番
		名前

1 +, -の符号を使って, 次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より6℃低い温度

(2) 0℃より3.5℃高い温度

(3) 0℃より6.8℃低い温度

1

(1)	-6℃
(2)	+3.5℃
(3)	-6.8℃

2 次の山の高さを, 富士山の高さ3776 mを基準にして, それより高いことを正の数, それより低いことを負の数で表しなさい。

(1) モン・ブラン 4810 m

$$4810 - 3776 = 1034$$

(2) きた ほ たかだけ 北穂高岳 3106 m

$$3776 - 3106 = 670$$

(3) エベレスト 8848 m

$$8848 - 3776 = 5072$$

2

(1)	+1034 m
(2)	-670 m
(3)	+5072 m

N0.13

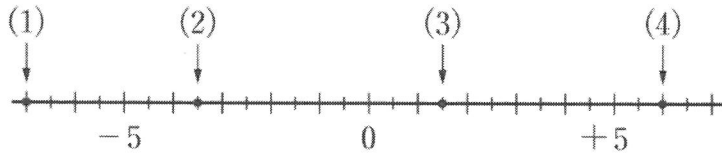
小テスト

1章 1節-2

年 組 番

名前

1 下の数直線上で、点(1)~(4)に対応する数を答えなさい。



1

(1)	-7
(2)	-3.5
(3)	+1.5
(4)	+6

2 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -3, -4

(2) -5, +2, 0

(3) -0.71, -0.68

(4) $-\frac{1}{4}$, $-\frac{1}{2}$, $-\frac{1}{6}$

2

(1)	$-4 < -3$ ($-3 > -4$)
(2)	$-5 < 0 < +2$ ($+2 > 0 > -5$)
(3)	$-0.71 < -0.68$ ($-0.68 > -0.71$)
(4)	$-\frac{1}{2} < -\frac{1}{4} < -\frac{1}{6}$ ($-\frac{1}{6} > -\frac{1}{4} > -\frac{1}{2}$)

3 絶対値が5である数を答えなさい。

3

+5 と -5

No. 14

小テスト

1章 2節-1(1)

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

(1) $(+3) + (+6)$ (同符号)
 $= + (3+6)$
 絶対値の和
 $= +9$

(2) $(-6) + (-8)$ (同)
 $= - (6+8)$
 $= -14$

(3) $(+7) + (-5)$ (異符号)
 絶対値の
 大きい符号 $\rightarrow +$
 $= + (7-5)$
 絶対値の差
 $= +2$

(4) $(-11) + (+11)$
 $= 0$

(5) $(-8) + (+2)$ (異)
 $= - (8-2)$
 $= -6$

(6) $0 + (-9)$
 $= -9$

(7) $(-12) + (-8)$ (同)
 $= - (12+8)$
 $= -20$

(8) $(+18) + (-6)$ (異)
 $= + (18-6)$
 $= +12$

(9) $(+25) + (-17)$ (異)
 $= + (25-17)$
 $= +8$

(10) $(-36) + (+19)$ (異)
 $= - (36-19)$
 $= -17$

1

(1)	+9
(2)	-14
(3)	+2
(4)	0
(5)	-6
(6)	-9
(7)	-20
(8)	+12
(9)	+8
(10)	-17

NO. 14

小テスト

1章 2節-1(2)

年 組 番

名前

1 次の計算をしなさい。

$$(1) (+0.8) + (-1.5) \text{ (異)} \\ = -(1.5 - 0.8) \\ = -0.7$$

$$(2) (-7.2) + (-3.4) \text{ (異)} \\ = -(7.2 + 3.4) \\ = -10.6$$

$$(3) \left(-\frac{1}{7}\right) + \left(-\frac{3}{7}\right) \text{ (同)} \\ = -\left(\frac{1}{7} + \frac{3}{7}\right) \\ = -\frac{4}{7}$$

$$(4) \left(-\frac{1}{6}\right) + \left(+\frac{5}{6}\right) \text{ (異)} \\ = +\left(\frac{5}{6} - \frac{1}{6}\right) \\ = +\frac{4}{6} = +\frac{2}{3}$$

$$(5) \left(-\frac{3}{4}\right) + \left(-\frac{2}{3}\right) \text{ (同)} \\ = -\left(\frac{3}{4} + \frac{2}{3}\right) \\ = -\left(\frac{9}{12} + \frac{8}{12}\right) \\ = -\frac{17}{12}$$

$$(6) \left(+\frac{1}{6}\right) + \left(-\frac{1}{2}\right) \text{ (異)} \\ = \left(+\frac{1}{6}\right) + \left(-\frac{3}{6}\right) \\ = -\left(\frac{3}{6} - \frac{1}{6}\right) \\ = -\frac{2}{6} = -\frac{1}{3}$$

$$(7) \left(-\frac{1}{5}\right) + (+0.8) \text{ (異)} \\ = \left(-\frac{1}{5}\right) + \left(+\frac{4}{5}\right) \\ = +\left(\frac{4}{5} - \frac{1}{5}\right) \\ = +\frac{3}{5}$$

$$(8) (+0.25) + \left(-\frac{1}{4}\right) \\ = (+0.25) + (-0.25) \\ = 0$$

1

(1)	-0.7
(2)	-10.6
(3)	$-\frac{4}{7}$
(4)	$+\frac{2}{3}$
(5)	$-\frac{17}{12}$
(6)	$-\frac{1}{3}$
(7)	$+\frac{3}{5} (+0.6)$
(8)	0

2 次の計算をしなさい。

$$(1) (+8) + (-11) + (+7) + (-6) \\ = \boxed{(+8) + (+7)} + \boxed{(-11) + (-6)} \text{ (加法の交換法則)} \\ = (+15) + (-17) \text{ (加法の結合法則)} \\ = -2$$

$$(2) (-6) + (+2) + (-9) + (+4) + (-2) \\ = \boxed{(-6) + (-9)} + (+4) + \boxed{(+2) + (-2)} \\ = (-15) + (+4) \text{ (加法の結合法則)} \\ = -11$$

2

(1)	-2
(2)	-11

No.15

小テスト

1章 2節-2

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned}
 (1) \quad & (+2) - (+9) \quad \text{加法に} \\
 & = (+2) + (-9) \quad \text{たおす} \\
 & = -7
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (3) \quad & (-8) - (-5) \\
 & = (-8) + (+5) \\
 & = -3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (5) \quad & (-14) - (-14) \\
 & = (-14) + (+14) \\
 & = 0
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (7) \quad & 0 - (-7) \\
 & = 0 + (+7) \\
 & = +7
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (2) \quad & (-7) - (+12) \\
 & = (-7) + (-12) \\
 & = -19
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (4) \quad & (+8) - (-13) \\
 & = (+8) + (+13) \\
 & = +21
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (6) \quad & (-6) - (+6) \\
 & = (-6) + (-6) \\
 & = -12
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (8) \quad & (-23) - 0 \\
 & = -23
 \end{aligned}$$

1

(1)	-7
(2)	-19
(3)	-3
(4)	+21
(5)	0
(6)	-12
(7)	+7
(8)	-23

2 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned}
 (1) \quad & (-0.7) - (+0.3) \\
 & = (-0.7) + (-0.3) \\
 & = -1
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (3) \quad & \left(-\frac{3}{10}\right) - \left(-\frac{7}{10}\right) \\
 & = \left(-\frac{3}{10}\right) + \left(+\frac{7}{10}\right) \\
 & = +\frac{4}{10} \\
 & = +\frac{2}{5}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (2) \quad & (-4) - (-1.8) \\
 & = (-4) + (+1.8) \\
 & = -2.2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (4) \quad & \left(-\frac{5}{12}\right) - \left(+\frac{1}{8}\right) \\
 & = \left(-\frac{5}{12}\right) + \left(-\frac{1}{8}\right) \\
 & = \left(-\frac{10}{24}\right) + \left(-\frac{3}{24}\right) \\
 & = -\frac{13}{24}
 \end{aligned}$$

2

(1)	-1
(2)	-2.2
(3)	$+\frac{2}{5}$
(4)	$-\frac{13}{24}$

No. 15

小テスト

1章 2節-3

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

$$(1) -3-9 \\ = -12$$

$$(2) 4-8+9-2 \\ = 4+9-8-2 \\ = +13-10 \\ = 3$$

$$(3) 1-14+10-18 \\ = 1+10-14-18 \\ = 11-32 \\ = -21$$

$$(4) 6-(-2)+9 \\ = 6+(+2)+9 \\ = 6+2+9 \\ = 17$$

$$(5) -12+(+34)+0-21 \\ = -12+34+0-21 \\ = -12-21+34 \\ = -33+34 \\ = 1$$

$$(6) -3+(-8)+(75)+(-7) \\ = -3-8+5-7 \\ = -3-8-7+5 \\ = -18+5 \\ = -13$$

1

(1)	-12
(2)	3
(3)	-21
(4)	17
(5)	1
(6)	-13

2 次の計算をなさい。

$$(1) -0.8-2.4-0.3 \\ = -3.5$$

$$(2) 4.8-6.4+(+2.1) \\ = 4.8-6.4+2.1 \\ = 4.8+2.1-6.4 \\ = 6.9-6.4 \\ = 0.5$$

$$(3) 1-\frac{2}{3}+\frac{5}{6}-\frac{1}{2} \\ = 1+\frac{5}{6}-\frac{2}{3}-\frac{1}{2} \\ = \frac{6}{6}+\frac{5}{6}-\frac{4}{6}-\frac{3}{6} \\ = \frac{11}{6}-\frac{7}{6} \\ = \frac{4}{6} \\ = \frac{2}{3}$$

$$(4) -\frac{2}{3}+\left(+\frac{1}{4}\right)+\frac{1}{6} \\ = -\frac{2}{3}+\frac{1}{4}+\frac{1}{6} \\ = -\frac{8}{12}+\frac{3}{12}+\frac{2}{12} \\ = -\frac{8}{12}+\frac{5}{12} \\ = -\frac{3}{12} \\ = -\frac{1}{4}$$

2

(1)	-3.5
(2)	0.5
(3)	$\frac{2}{3}$
(4)	$-\frac{1}{4}$